

あすかかんぱにー

アスカカンパニー(株)

加東市河高4004番地 ☎0795-48-4323



公式サイト

プリンの特製容器や歯磨き粉のふたなどのプラスチック製品を造っているアスカカンパニー。社員の個性を尊重しながらやりがいを持って働けるよう成長の機会を用意しています。

- 👑平成26年度 ひょうごNo.1ものづくり大賞 大賞
- 👑平成30年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
- 👑平成30年度 ひょうご女性の活躍企業表彰
- 👑ユースエール認定企業
- 👑くるみん認定企業
- 👑えるぼし認定企業

任されながら成長できる会社



「あ！コレ知ってる！」そんな製品を造っている会社です

営業本部プロジェクトマネジメント部の西脇千帆さんは入社6日目。カメラを使った製品チェックシステムを同業者に共有するセミナー講師などの業務に携わっています。

「初心者にも分かりやすくを心がけ、参加者からのセミナーを受講してよかったという声が出るようになる」と言います。

入社5年目、管理本部HRグループの畑瀬美早紀さんは入社間もない頃から新卒学生向け会社説明会でのプレゼンの役を任せられました。「年齢が近い社員の生の声に触れてもらい、ありのままを理解してもらうように努めている」そうで、以前に比べ応募学生数が8倍に増えたそうです。2人に共通するのは、本人の適性を見ながら挑戦の機会を与えてもらい成長している点です。

転勤希望も二つ返事で承諾

2020年に結婚した西脇さんは夫の勤務地に合わせ大阪オフィスへの異動希望を上司に伝えたところ二つ返事で承諾されたとのこと。同年4月から大阪オフィスで従来と同じ業務を続けているそうで「個人の状況を尊重してもらえるので、もっと仕事を頑張ろうと思える」と言います。

同様に20年に結婚した畑瀬さんも、都合に合わせて有給休暇が取れるよう上司が気にかけてくれる点をありがたく思っているとのこと。「社長が一人ひとりの状況を把握して声をかけてくれる会社。今後は後輩を指導す



畑瀬美早紀さん(左)と西脇千帆さん

る立場として気を遣える先輩でいたい」と今後の抱負を語っています。

企業データ

■設立(創業)/1968年
■資本金/1億円

■売上高/35億円(2020年10月期)
■従業員数/245名

■平均年齢/35.5歳



2020年に創業130年を迎えた老舗企業だが女性社員による業務改善プロジェクトなどにより風通しの良い活気ある社風が生まれ、それが新商品を次々に生み出す原動力にもなっている。

👑 令和元年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰

社会課題に応える新商品を次々に開発



130周年記念
キャラクター
「仔馬のこいちゃん」
も社員の発案で
誕生しました

1890年にジュート(黄麻)メーカーとして創業し、麻関連の包装資材などを製造してきました。近年は社会に必要とされる新商品の開発に注力。液体物流容器や農業用資材、緑化資材などで多彩な商品を送り出しています。

小泉康史社長が就任した2015年以降は社員がやりがいを持って働ける風土づくりに着手。コミュニケーションを活発にしながら、女性社員が働きやすい職場づくりを考える業務改善プロジェクトなどを推進してきました。

働きやすい仕組みを社員が提案、実現

同プロジェクトでは、一人ひとりの業務を見直して仕事を共有し合える体制を構築。子育て中で時短勤務を利用するCSセンターの小西裕子さんは、「繁忙期でも残業をせずに帰れるようになり、休暇も取りやすくなった」と話します。

社員の声が社内制度に反映されることも多い。経営戦略室の福山茜さんは、育休明けに遠方から通勤する同僚を見て「居住地の近くに拠点があればむだなく働けるのでは」とシェアオフィスサービスの利用を会社に提案、2020年3月から導入されました。折からのコロナ禍で活用が進み、在宅勤務にもスムーズにつながられたそうです。チーフの桑

田知子さんは「システムなどを活用し、さらに働きやすい環境を作りたい」と話します。

「一歩踏み出せる環境を整え、社会と社員にとって良い会社に成長させたい」と小泉社長は次なるステップに期待しています。



人の移動を支える道路や鉄道の整備に活用される商品も

企業データ

■設立(創業)/1890年
■資本金/9,800万円

■売上高/73億4,420万円(2021年5月期)
■従業員数/159名

■平均年齢/42.0歳

こうぼうしゃ

(株)神防社

神戸市中央区東雲通3丁目4-3 ☎078-241-3505



公式サイト

消防設備の点検・工事を手掛ける神防社では、女性従業員だけで行う消防設備点検サービスを実現させるなど、女性従業員の職域の拡大や管理職への登用を積極的に進めている。

👑令和2年度 ひょうご仕事と生活のバランス表彰企業

👑令和2年度 ひょうご女性の活躍企業表彰

👑えるぼし認定企業

女性だからこそ安心感を提供



建設業界で女性が増え、活躍できる会社づくりを目指す

スプリンクラーや消火栓などの消火設備を建物の特性に合わせ設計から施工までを一貫

して手掛ける消防設備工事業として2008年に創業。創業4年目からは、消火設備を設置した建物に義務付けられているメンテナンス事業にも進出しました。

そのメンテナンス事業を担当する永井沙友里さんは21年2月に入社。マンションでは個々の居宅を訪問しての点検作業となるため、女性だと安心して受け入れてもらえるとのこと。「より多くの点検作業に関われることで防災に貢献できていることを実感している」と話します。

新規事業のプロジェクトにも参画

同社では近年、防災を軸にした新事業に積極的に進出。災害時にセカンドハウスとして活用できる防災ロッジ販売業（KOBOhut）や、果物や野菜などを真空フライし保存食として使える防災チップス販売もその一つ。永井さんもメンテナンスの仕事の傍ら防災チップスのプロジェクトにも参加しているとのこと。プロジェクトを引っ張る営業・企画事業部の相川沙愛さんのもと「自分が考えていることを受け入れてもらえる雰囲気にやりがいを感じる」といきいきとした表情で語ります。

並里麻依副社長はじめ各部署でも女性が管理職として活躍しており「男女分け隔てなく力を発揮できる風土がある。多様な視点を事



新規事業である防災ロッジ（左）・防災チップス（右）販売業

業推進の原動力に変えていきたい」と話しています。

企業データ

■設立（創業）／2008年

■資本金／2,000万円

■売上高／16億9,698万円（2020年12月期）

■従業員数／74名

■平均年齢／34.0歳

さんそうでんき

三相電機(株)

姫路市青山北一丁目1番1号 ☎079-266-1200



公式サイト

モータ・ポンプメーカーの三相電機は、全員参加型の「改善オリンピック」や現場で働く女性の職場改善を目指すプロジェクトなどを通じ、従業員全員が働きやすい会社を目指している。

🏆 令和元年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰

🏆 令和元年度 ひょうご女性の活躍企業表彰

🏆 えるぼし認定企業

働きやすい職場づくり



田中課長補佐(左)と楠担当課長

産業機器用モータや特注仕様ポンプなどを供給している三相電機。ポンプ技術を応用し、

魚の養殖用に酸素を液体に溶解する装置や、飲料用に海水を淡水化するユニット製品なども手掛けています。

同社では2013年、従業員全員が参加する「改善オリンピック」をスタート。2～3人のチームで毎月1件の改善を行い、それぞれの改善は「整理」「整頓」「清掃」「その他（アイデア、努力など）」の4項目で評価、全ての改善に点数をつけ、評価が分かるようにしています。評価されることで喜びを感じ、達成感を感じている従業員もいます。

現場で働く女性の声を活かし職場を改善

さらに現場で働く女性の職場改善のために4年前に発足したのが組立課の「女性改善プロジェクト」。立ち上げメンバーの楠敦子さんと田中夕妃さんは、同時期、女性管理職として課長補佐に昇進しました。プロジェクトでは、重量物を持ち上げやすくするための昇降機の導入や休憩室をフローリング仕様に変え、水槽や緑を置く環境改善などに取り組んでいます。「コミュニケーションをよくしていくことで率直な声を拾い上げ、さらに働きやすくなるようにしていきたい」と2人は話します。

「従業員全員が主役に」を掲げる同社。統括管理部長の榮永悟さんは「男女区別なく、



ミーティング中（女性改善プロジェクト）

従業員の声を活かす取り組みを続けながら、日々前進していく会社でありたい」と話しています。

企業データ

■設立（創業）／1957年

■資本金／8億9,300万円

■売上高／129億2,600万円（2021年3月期）

■従業員数／360名

■平均年齢／43.0歳

じえーしーあーるふあーま

JCRファーマ(株)

芦屋市春日町3-19 ☎0797-32-8591



公式サイト

医薬品開発で躍進を遂げるJCRファーマ。開発、研究職を中心に女性社員が多く、全体でも37%を占めている。管理職に占める女性の割合も10.6%を占め、着実に上昇している。

- 👑令和3年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
- 👑平成30年度 ひょうご女性の活躍企業表彰
- 👑くるみん認定企業
- 👑えるぼし認定企業

社内保育所の存在で安心して出産



JCRでは、ママ社員が多く活躍しており、仕事と家庭を両立できるよう頑張っています

遺伝子工学などのバイオ技術を用い、希少疾病・難病に特化した医薬品開発に取り組む同社。2021年からは英アストラゼネカ製新型コロナウイルスワクチン原液の受託生産に乗り出すなど事業ステージはさらに飛躍しようとしています。

4歳、1歳の2人の娘を持つ開発本部開発企画部主任の高棹直子さんは、新薬の臨床試験に関わる文書作成業務に関わっています。1人目の出産時は当時所属していた研究本部(神戸市西区)に社内保育所があり、「育休から復帰する時に保育園に入れるかどうかを心配せずに済み安心できた」と話します。

週4日の在宅勤務で仕事に集中

3年前に異動した開発本部では「年齢を問わず、何でも言い合える風通しのいい社風」を感じています。20年6月に2人目の出産後に取得した育休から復帰後は週5日中4日の在宅勤務が続いています。「通勤時間の節約になり、仕事も集中できる」とのこと。4月から新たな仕事も加わりやりがいを感じています。「同僚も子育て中の母親が多く働きやすい。部長もその1人で私にとっては憧れの働き方」と話します。同僚の男性社員の中にも育休を取得する動きが増えているそうで、人事企画部 柏原理沙さんは「さらに男性社

員の育休取得を促すことで、より理解し合える働きやすい風土をつくっていきたい」と話しています。



キッズランドでは季節のイベントなども実施しており、お子さんを安心して預けられる環境があります

企業データ

■設立(創業)/1975年
■資本金/90億6,186万円

■売上高/300億8,500万円(2021年3月期)
■従業員数/719名

■平均年齢/39.9歳



たつの市龍野町片山379-1 ☎080-6110-9703

ランドセルメーカーのセイバンは近年取り組んできた生産改革により、定時内で効率よく生産できるようになり、子育てなど時間に制約のある社員でも働きやすい環境が整ってきている。

👑平成30年度 ひょうごオンリーワン企業
👑平成30年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰

支え合い、効率の良い生産が可能に



2020年竣工の新社工場

ランドセルは以前に比べ色、機能などが多様化し、きめ細かい生産が求められるように

なっています。そこで、需要に応じて機動的に生産できるようにする改革に取り組んできました。とくに注力したのが多能工化です。前ポケット、肩ベルトなどのパーツごとにグループ分けし、グループ内の数ある工程はだれでもこなすことができることを目標にしています。また、だれかの作業が滞るとすぐにサポートに回るようにしました。1日の生産目標に向け、定時内で達成する意識が醸成され、時間外労働の削減にもつながりました。

「気兼ねなく休めるようになりました」

入社以来、企画、製造部門を経験してきた竹添奈津希さんは男児を出産した後育児休暇を取得。2019年5月に職場復帰を果たし、現在は短時間勤務制度を利用しています。「以前は休むと工程が滞るため休みづらかったのですが今は気にせず休めるようになりました。何よりグループ内で助け合うようになり、さらなる改善に向けコミュニケーションも活発です」と笑顔で話します。

20年7月にはたつの市に新工場が完成し、兵庫県にあった3工場を集約。さらに効率的な生産体制を構築するとともに社員食堂やリ

ラクゼーションルームも導入しており、さらに働きやすい環境を目指します。代表取締役社長の泉貴章さんは、「生産現場の8割は女性。社員全員が支え合ってより気持ちよく働ける環境を整えていきたい」と話しています。

多能工化により育児と仕事を両立できる環境が整ってきたと話す竹添奈津希さん



企業データ

■設立（創業）／1919年
■資本金／4,500万円

■売上高／非公開
■従業員数／360名（グループ計）

■平均年齢／39.3歳

とーほーぐるーぷ

トーホーグループ

神戸市東灘区向洋町西5-9 ☎078-845-2400



公式サイト

トーホーグループでは男女分け隔てなく働きやすい環境を整備している。女性のリーダー、管理職も着実に増え、責任とやりがいを感じながら自分らしく働いている。

★平成30年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰

★平成30年度 ひょうご女性の活躍企業表彰

★くるみん認定企業

早くから女性活躍支援に注力



神吉里奈さん（中央）がリーダーを務めるチームのメンバー

ホテルやレストランなどの外食産業に業務用食材を販売する、業務用食品卸のリーディングカンパニーとして37都道府県、海外3カ国に展開するほか、食品スーパー「トーホー

ストア」の運営や品質管理サービスなど食のあらゆるシーンを支えています。トーホーグループでは多くの女性が働いており、2005年からは「女性の活躍なくしてトーホーグループの成長なし」をスローガンに、女性活躍を支援しています。14年には昇格に制限があった一般職採用を廃止し総合職に一本化したほか、キャリア意識を醸成するためリーダー管理職候補向けの研修も実施。現在は15年度と比較して女性の管理職・リーダーが約2.5倍、リーダーの候補者層が約2倍まで増えています。

理解あるメンバーに囲まれて

グループ会社、トーホーフードサービスの販売促進部メニュー支援チームでチームリーダーを務める神吉里奈さんもその一人。2年前、産休から復帰して半年後にリーダーを任されました。メンバー5人はすべて女性で、飲食店に対し同社の商品を使ったメニューを提案しています。メンバーからは「やってみたいことを受け止めてくれる」と全幅の信頼を寄せられ、神吉さんも「チームで考えた提案が採用されたときがうれしい」と言います。子どもが小さいため時短制度を活用しながらの勤務ですが、会社の支援や理解してくれているメンバーに助けられながら自分らしく働

ける環境で「想いを形にできる」現在の仕事にやりがいを感じています。



食品メーカーの商品だけでなく、トーホーグループオリジナルのプライベートブランド商品も多数開発しています

企業データ

■設立（創業）／1947年
■資本金／53億4,477万円

■売上高／1,862億1,700万円（2021年1月期）
■従業員数／4,976名

■平均年齢／43.0歳

にほんいーらいりりー

日本イーライリリー(株)



公式サイト

神戸市中央区磯上通5丁目1番28号 LILLY PLAZA ONE BLDG. ☎078-242-9000

日本イーライリリーでは、だれもが自分の目指すキャリアに挑み、それを周囲が応援する風土が浸透しており、管理職に占める女性の割合は30%を超え、製薬業界においてトップレベルだ。

👑 令和元年度 ひょうご女性の活躍企業表彰
👑 くるみん認定企業

早くから女性活躍支援に注力



日本イーライリリー本社（神戸市）外観

2004年から女性活躍推進の取り組みを本格化し、男女ともに活用できる日数制限の

ない在宅勤務制度や豊富に選べる育児・介護短時間勤務制度を導入する一方、リーダー育成のための研修制度の充実を図ってきました。また、上司の理解が重要との考えから、「入社して10年間に女性がキャリアやライフイベントでどのようなことに直面し悩みを抱えるのか、周りにはどんなサポートができるのかといった情報をロードマップで示し、相談しやすい環境を整えています」と人事部ダイバーシティ&インクルージョン推進部長の安原菜津子さん。その結果、女性管理職の比率は現在30%を超えました。

理解あるメンバーと、相談できる環境で

出産を経て21年1月に職場復帰した研究開発本部臨床薬物動態担当の三村花華さんは、働きながらもできるだけ娘のそばにいてあげたいという思いから、周囲の協力も借り5～9時、13～17時を勤務にあてています。「当初はこんな変則的な働き方に理解が得られるだろうか」と不安でしたが、先輩ママ社員から「気にすることはない」と言われ吹っ切れたそうです。三村さんの出席が必要な会議は午後に設定をしてもらい、他の時間は準備や詳細検討などチームで進めるため柔軟に活用しています。また将来の自身が描くキャリアについても、上司から「ぜひチャレンジして



三村花華さん（左）と安原菜津子さん

みるべき」と応援の言葉をもらい、さらなる自身の成長と社会への貢献に向け日々奮闘しています。

企業データ

■設立（創業）／1975年

■売上高／2,671億円（2020年12月期）

■平均年齢／40歳

■資本金／127億7,250万円

■従業員数／約2,900名



高砂市荒井町東本町19-23 ☎079-443-4405

同社では経営の中枢と位置付ける総務部門で働く社員15人のうち14人を女性が占めている。長い目でキャリアを積んでもらうためにそれぞれの良さを生かせる人材配置に力を入れている。

👑平成30年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
👑令和3年度 ひょうご女性の活躍企業表彰

取引先に感動を与える会社に



女性社員たちの活躍は、会社にイノベーションをもたらす力になると期待されています

大手重工業、重電メーカーの協力企業として、発電機器などの設計から生産技術、品質技術、システム開発まで、ものづくりに関わる一連のサービスを提供している阪技。「ただ依頼された仕事をこなすだけではなく、取引先に感動を与えられる会社に」と後藤純次社長。そのためにその人の良さを生かせる人材の配置に注力し、「自分自身で考え、行動できる」人材の育成に努めている。

それぞれの良さを生かして社員が輝けるように

新入社員は3カ月程度の研修を経た後に、現場で2次研修に臨み、それぞれの良さを伸ばせる場所を見極めたうえで配属が決まります。入社2年目の四谷成子さんは人事に関するAI開発を行っています。Python(パイソン)によるデータ分析や予測に積極的に挑戦しており、「得意な数学を存分に生かしている」と感じているそうです。また、新入社員研修にも携わっており、一人一人の良さを見いだす取り組みにも力を入れています。

入社3年目の黒崎充香子さんはデザイン分野を学んだ経験を生かし、社内外の発信媒体のデザインのほか議事録を分かりやすく可視

化するグラフィックレコーディングの仕事を任されています。「会社の方針を社員に分かりやすく伝える仕事にやりがいを感じる」と黒崎さん。「出産を経て復帰いきいき働いているロールモデルになる先輩をお手本にしながら働き続けたい」と二人はともにこの会社でのキャリアアップを思い描いています。



阪技は「自ら考えて動く人」を求めています

企業データ

■設立(創業)/1981年
■資本金/1,000万円

■売上高/17億円(2020年12月期)
■従業員数/247名

■平均年齢/36.5歳

ふえりしも

(株)フェリシモ

神戸市中央区新港町7番1号 ☎078-325-5555



公式サイト

カタログやオンラインでファッション、生活雑貨を販売するフェリシモ。近年は男性社員による育児休業を取得するケースも増え、仕事と生活を両立する風土が根付いている。

🏆平成23年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰

🏆平成30年度 ひょうご女性の活躍企業表彰

🏆くるみん認定企業

若手・中堅にリーダーを任せ、成長の場に



柏木花菜子さん(右から2人目)と「イディット」チームのメンバー。育児をこなしながら仕事でも輝いています

30～40代女性向け服飾雑貨カタログ「イディット」で商品企画を担当する柏木花菜子さんには高1の息子、小6の娘がいます。そもそも就職活動の際、「結婚、出産しても働

き続けられること」を条件に会社を選び、入社したとのこと。第1、2子の出産ともに育児休業を取得し、短時間勤務制度やフレックスタイム制度を活用しながら育児と仕事を両立してきました。

パートを含めると全従業員の85%以上が女性の同社。中でも柏木さんが籍を置く「イディット企画チーム」はメンバー10人中9人が女性で、うち5人が出産を経て職場復帰を果たしています。「だれかが急な子どもの病気でお休を取らざるを得ないときでもお互いさまの気持ちでいられます」。また、柏木さんは、現在、「MEDE19F」というブランドのリーダーもしており、同社では若手、中堅、女性、男性に関わらず、リーダーをまかせ、従業員の成長機会としています。

それぞれの働き方を支えられるように

商品のターゲット世代と重なるだけに自身普段感じることをそのまま企画に生かしヒット商品を送り出している柏木さんは「これからも好きな企画に携わっていきたい」と考えています。自らも以前、育児休業を取得した総務部の山崎力さんは「柔軟な発想を生み出し、働きがいを感じられるような制度を考えていきたい」と、従業員がより働きやすいよう後押ししていく考えです。



フェリシモ オリジナル商品

企業データ

■設立(創業)/1965年

■資本金/18億6,800万円

■売上高/332億6,000万円(2021年2月期)

■従業員数/762名

■平均年齢/43.1歳

ありまほうこうどう

(株)有馬芳香堂

加古郡稲美町加古3627-3 ☎079-492-0055



公式サイト

有馬芳香堂は創業来、豆菓子、ナッツ類の焙煎・販売を一貫して手がけながら販路を広げてきた。2021年の創業100周年を機に海外展開、新たなブランディングにも挑んでいる。

100周年を迎え、新たなチャレンジも



有馬康人取締役(左)に話を聞く神戸大3年生の無津呂華さん

—100年間どのように事業を継続してきたのでしょうか。

「曾祖父と曾祖母が創業した当初は豆菓子とピーナツから始まり、その後アーモンドなどのナッツ類も加わりました。2代目の祖父が百貨店へ、3代目の父はスーパーへ販路を広げました。2013年頃からお菓子、お酒のつまみだった豆、ナッツ類が美容・健康に良いスーパーフードとして認知され、市場はここ10年で約2倍に膨らんでいます」

—御社ならではの**特徴、強み**は。

「鮮度^{ばいせん}にこだわり、焙煎、フライしたてを店舗に送り、よりおいしい状態で食べていただく『できたて工場直送便』サービスを行っています。また、100周年を迎え次世代へと事業をつなげるチャレンジをしています。海外展開ではまずマレーシアに拠点を置き、ハ

ラルマーケットを開拓中です。また、神戸市兵庫区に『ナッツラボ』というブランドの店を開設し、シュークリームなどのナッツ菓子を提供しています。地元の企業と連携しながら新商品を開発し、神戸みやげに育てたいと考えています」

—求める人材像は。

「人柄重視です。明るくて、真っ直ぐな人を求めています。そして、経営陣も含めて、みんなで一緒に考えながら成長している組織にしていきたいと考えています。100周年プロジェクトでは社内公募で募った若手社員が中心になり『ありがとう』『わくわく』『チャレンジ』のテーマでさまざまな取り組みをし、成長してくれています」

(まとめ・山口裕史)

神戸大学

無津呂 華さん

check 学生が
チェック!

インタビューを通して、地域や人とのつながりを大事にしている企業であることを感じた。

100年続く企業でありながら、ハラルマーケットやナッツラボブランドなど、新たな事業に積極的に挑戦している点が印象的で、今後の展開にも目が離せない。

企業データ

■設立(創業)/1921年

■売上高/20億4,139万円(2021年2月期)

■平均年齢/

■資本金/3,000万円

■従業員数/90名

36.0歳(正社員)

43.9歳(全従業員)



とんかつソースの生みの親でもあるオリバーソース。幾多の苦難を乗り越えながら、どろソース、クライマックスソースシリーズなどの新商品を送り出し、2023年には創業100周年を迎える。

とんかつソースの元祖として全国へ



道満龍彦企画室室長(左)に話を聞く神戸大4年生の橋本紘弥さん

一会社の歴史を教えてください。

「ウスターソースの製造販売業から事業をスタートし、戦後、とろみをつけて発売したとんかつソースがお好み焼きにも広く使われるようになりました。1993年には製造工程で底にたまった沈殿物を加工して『どろソース』として発売したところそばめしブームに乗り、ヒットします。阪神・淡路大震災では本社工場が全焼し、事業継続を断念しかけましたが、周囲に助けられ再開を決断。唯一残ったタンクのソースの限定販売をきっかけに『クライマックスソース』シリーズを発売し、復興を遂げていきました」

一オリバーならではの強みは。

「大手ソースメーカー以外は業務用に頼っているところが多いのですが、当社は業務用

と家庭用の比率が半々のためコロナの影響も最小限で済みました。商品面では原材料で使う野菜・果実にこだわっており、これがフルーティーなうま味を生んでいます。このほど、地元である神戸産の野菜・果実を使用した『神戸クラフトソース』を商品化しました。情報発信を若い世代にお願いしたところ。SNSで見た人がたくさんECサイトで購入してくれ、完売しました」

一これからの目標を聞かせてください。

「どろソースを全国区にすることが短期的な目標です。そして、長期的にはとんかつソースの元祖としてこれをしっかりブランディングしていきたいですね。そこにも若い人の感性を生かしていきたいと考えています」

(まとめ・山口裕史)

神戸大学

橋本 紘弥さん

Check 学生がチェック!

食卓ではおなじみの"どろソース"だけでなく、神戸産地産地消のクラフトソース製造など、SDGsなどへの新たな取り組みをしている企業。歴史と伝統を重んじながらも、ソースメーカーとして新しいことに挑戦し続ける社風に心がひかれました。

企業データ

■設立(創業)/1923年

■売上高/22億4,700万円(2020年9月期)

■平均年齢/42.0歳

■資本金/9,960万円

■従業員数/53名

くらせる

(株)KURASERU



公式サイト

神戸市東灘区向洋町中6丁目9番神戸ファッションマート8F ☎078-855-5776

2017年に創業し、介護施設と施設利用者のマッチングサービスを手掛けるKURASERU（クラセル）。“誰もが暮らしたい場所で「クラセル」世の中に”をビジョンに掲げる。

誰もが暮らしたい場所で「クラセル」世の中に



川原大樹代表取締役(右)に話を聞く関西学院大3年の福山祐史さん

一どのような思いで起業されたのですか。

「父が自身で会社を営んでいたこともあり、学生時代から『いずれ起業をしたい』と考えていました。日本が超高齢社会を迎える中でさらに伸びていくであろう介護市場に着目し、実際に業界に身を置いてニーズを探ろうと、介護施設、病院、訪問看護ステーションで働きました。そして、介護施設探しで困っている人が多くいることを知り、システムと人を使って、豊富な情報の中から、自分に合った介護施設を探すことができるマッチングサービスを始めました。現在は、施設側から利用者に入所のオファーを出せる事業も行っています」

一今後の事業展開と求める人材像を教えてください。

「“誰もが暮らしたい場所で『クラセル』世の中に”というビジョンを実現するためにより良い仕組みがあればどんどん新しいことに取り組んでいこうと考えています。そのためには多様なパートナーとの連携も欠かせません。サービス形態が変わったとしてもビジョンに向かって進んでいける学習能力の高い人を求めています」

一仕事は楽しいですか。

「ビジョンの達成に近づいていくことにやりがいを感じています。一方で、これまでに複数の投資ファンドからの出資を受けており、事業を成功させなければいけないという強い責任も負っています。楽しいけれど楽ではないというところでしょうか」

(まとめ・山口裕史)

関西学院大学

福山 祐史さん

Check 学生が
チェック!

介護社会の現状、問題を知り、マッチングの必要性を感じた。ビジョンを明確に持ち、そこに向かって突き進む姿は魅力的に感じ、介護の社会を変えたいという思いが伝わった。今後の成長と新たなサービスに注目したい。

企業データ

■設立(創業)/2017年
■資本金/4億1,150万円
(資本準備金含む)

■売上高/非公開
■従業員数/9名

■平均年齢/37.0歳



バレエシューズ「ファルファール」を筆頭に女性向けのファッションブランドを展開する中堅アパレル。新たな素材や販売方法を取り入れ、環境保全にも目を向ける。

SNSを活用した接客に挑戦



沼部美由紀社長(左)の話を聞く甲南大3年の神吉華子さん

—どんな商品を扱う。

「8年前、バレエシューズのブランドを立ち上げました。当時、日本人の足に合うものは少なく、デザインと履き心地を両立させて大ヒットしました。現在は、売り上げの50%を占める主力商品です。昨年からは中敷きに形状記憶素材を使うことで、自分の足裏に合う形になるパンプスを販売しています。丈の長さを選べる『神戸・山の手スカート』も人気です」

—コロナ禍の影響は。

「百貨店など商業施設でのビジネスが多く、一時閉鎖などで売り上げが減少しました。一方、電子商取引(E C)では新しい顧客を獲得しています。店舗は実際の商品に触れてもらうショールーム的な要素が強くなりそうです」

—今後の戦略は。

「SNSを利用したライブ型の接客を始めました。製品を手にした販売員がそれぞれのやり方で特長などを紹介し、視聴者からの質問に答えます。オンライン接客ツールを導入し、実績に応じて販売員の給与に反映させています。オンラインのファンが、店員に会いに来てくれる循環をつくりたいですね」

—環境の持続可能性への配慮も打ち出す。

「アパレル業界は、大量生産・大量廃棄が問題になっていますが、本当に顧客に必要なものだけを手掛けたい。受注販売を増やそうと試行錯誤しています」

—求める人材は。

「好奇心があり、どんな環境でも人生を楽しめる人。自分の言葉で考えることは大事だと思います」 (まとめ・塩津あかね)

甲南大学

神吉 華子さん

check 学生がチェック!

従業員の方の個性や多様性を尊重しそれぞれの人に合った働き方を推進しており、人を大切にしている職場であるという印象を強く受けた。環境問題への配慮も行いながら事業をされており、今後の動きに注目したい。

企業データ

■設立(創業)/2006年
(創業1996年)
■資本金/1,000万円

■売上高/15億3,800万円(2020年1月期)
■従業員数/78名

■平均年齢/36.0歳

こうべまつだ

(株)神戸マツダ

神戸市兵庫区東柳原町3番10号 ☎078-671-5205



公式サイト

兵庫県内唯一のマツダ車のディーラーで今年、創業80年を迎える。顧客データを活用したサービス向上など、デジタル戦略に力を入れている。

🏆令和元年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰

DX (デジタルトランスフォーメーション) でサービス充実



橋本覚社長(左)に話を聞く神戸大3年の畑山秀人さん

一事業内容は。

「阪神間を中心に南は洲本市、北は豊岡市まで県内27カ所でマツダ店を展開しており、売上高の75%を占めます。ほかに輸入車販売、レンタカーなどを手掛けています。登下校の見守りや会議室の無料開放など、社会貢献にも力を入れています」

一新型コロナウイルス禍の影響は。

「2020年度は、新車販売台数が前年より13%減少し、ここ数十年で最低となりました。ただ中古車は堅調でした。公共交通機関の利用を控え、シフトする動きが広がったようです」

一需要に応えるための取り組みは。

「中古車販売サイトを刷新し、条件にあった車を検索しやすいページデザインに変えました。顧客情報の収集・管理では、家族構成

や車の使用目的、趣味など20項目のアンケートを実施し、データを分析して顧客に合う商品やサービスを知らせるダイレクトメールの配信につなげます。データを活用したデジタル戦略は、今後ますます重要になりそうです」
一販売店の今後は。

「インターネット社会が発達し、販売店の役割は試乗と整備だけになるかもしれません。スポーツカー専門などの特色ある店づくりや、顧客向けオートキャンプ場の経営といった新しい価値の創造が必要になるでしょう」

一求める人材は。

「いろいろなことに興味があり、顧客の潜在的ニーズを引き出せる感性豊かな人と仕事をしたいですね」

(まとめ・中務庸子)

神戸大学

畑山 秀人さん

Check 学生がチェック!

関わる人々全てを対象とする「5つの幸せ」の実現を存在意義とし、ディーラーとしての役割を超え、地域貢献にも力を入れている。「自動車の仕事」にとどまらずに広い視点で世の中に貢献する企業の姿勢をより多くの人に注目してほしい。

企業データ

■設立(創業)/1941年

■売上高/279億9,500万円(2021年3月期)

■平均年齢/44.2歳

■資本金/1億円

■従業員数/822名



印刷のほか、文具ブランド「神戸派計画」の商品開発、Webシステム事業を手掛ける。紙離れが言われる中、文字文化を育む業種として情報発信をサポートしている。

紙媒体での情報発信を追究



武部健也社長(右)に話を聞く深山望彩さん(左)と津田大輝さん

一印刷業界の現状は。

「活字離れやペーパーレスで、斜陽産業の代表格とされます。この20年で市場規模は6割程度に縮小しましたが、事業者数も減り、多くは売り上げ規模を維持できています。印刷は、やせ細ってもゼロにはなりません。地域の情報発信を支え続けるためにも、他の事業を伸ばします」

一神戸派計画に力を入れる狙いは。

「文具の世界では、万年筆やガラスペンが注目されています。インクを入れ替える手間などが、書く行為にこだわる人にはいとおしく感じられるようで、多彩な「インク沼」にはまる人も増えています」

「書くこと、思いを伝えることが楽しくなる文具があれば、人の暮らしを豊かにできるのではないかと。私たちの商品がその一助にな

ればと。性別に関係なく手にしやすく、どこか神戸らしさを感じさせる商品を心掛けています」

一持続可能な開発目標（SDGs）の実現に向けた取り組みは。

「印刷業界は紙を大量に使うため、環境に良くないと思われがちですが、再生紙の利用促進、空調効率などを高める排気設備の整備、電力使用量の削減などに努めています」

一働く上で大切にしていることは。

「人の役に立つこと、正しいこと。捨てられない印刷物を作りたいと考えています。メディアは時代とともに変化しますが、紙媒体は何年たっても残ります。紙の特性をどう生かせるか突き詰めます」

(まとめ・赤松沙和)

甲南大学

津田 大輝さん

check 学生がチェック!

「印刷もできる印刷会社」という理念のもとペーパーメディアをはじめ、Webシステム構築や文房具開発に着手する同社。印刷だけを目的とせず、お客様の情報発信のお手伝いをするという本質を大切に様々な事業を展開するチャレンジ精神に胸が熱くなりました。

企業データ

■設立(創業)/1948年
■資本金/3,000万円

■売上高/5億6,000万円(2021年8月期)
■従業員数/36名

■平均年齢/40.8歳

ていーえーていー

(株)TAT

西宮市日野町4-50 ☎0798-68-1273



公式サイト

爪に樹脂を塗って装飾を長持ちさせる「ジェルネイル」など、ネイル関連商品を専門に扱う商社で、プロ向け市場で売上高トップを維持する。「ネイルを通してファッション以外の分野でも社会貢献したい」という高野芳樹社長に話を聞いた。

🏆平成26年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰

ネイルで幅広く社会貢献



高野芳樹社長(右)に話を聞く関西大3年の阪上雅日さん

ーネイル市場の現状は。

「日本のネイルは華やかで、海外のセレブなどには高く評価されています。ただ、日本人女性には少し過剰だと思われるかもしれません。シンプルなマニキュアを施す直営サロンが好調なのは、そのためだと思います。国内でネイルサロンを利用する女性は約10%にすぎず、伸びしろはあります」

ーコロナ禍の影響は。

「当社の顧客は大半が個人営業のネイリストで、都市型で多店舗展開する事業所はわずかです。店舗の一時閉鎖も少なく、2020年12月期の売上高は前期比1%減で済みました。おうち時間が増えて、自身でネイルしたい人が増えたこともあるでしょう。デジタル化で経費が減ったこともあり、営業利益は過

去最高を更新しました」

ーネイルの新たな取り組みは。

「幅広い分野で人や社会の役に立ちたい。現在、有機溶剤を使わずに除去できるネイルが開発途中です。爪や皮膚だけでなく、環境にも優しい」

「3年前からは、野球の捕手用に爪に貼るとサインが判別しやすくなる蛍光テープを販売しています。スポーツや医療、介護・福祉の分野で商品化の研究を進めています」

ー求める人材は。

「自分らしく輝ける人、心の優しい人です。人の役に立つために行動できる人と一緒に働きたいですね」

(まとめ・塩津あかね)

関西大学

阪上 雅日さん

Check 学生が
チェック!

利益を優先するのではなく、お客様やネイリストの方々への「お役立ち」の気持ちで事業をされていることが印象的だった。アスリート向けのネイルなど、美容の枠を超え様々な分野で新しい価値を創造している革新的な会社である。

企業データ

■設立(創業)/2000年
(創業1998年)
■資本金/5,000万円

■売上高/80億9,752万円(2020年12月期)
■従業員数/310名

■平均年齢/34.0歳



ベビー・子ども服を主力事業とするファミリア。近年は「子どもの可能性をクリエイトする」という理念に沿って、保育所事業、小児科に特化したクリニック事業も展開している。

子どもの可能性をクリエイトする



林良一取締役(右)に話を聞く甲南女子大3年の三本優希さん

一事業を行う上で大切にしていることは。

「1950年に、今でいう4人のママ友が日本に新しい育児法を紹介したい、広めたい、という思いから創業したベンチャー企業です。『子どもの可能性をクリエイトする』という企業理念を大切にしており、特に妊娠してから2歳までの最初の1,000日の時期を大切にしながら商品開発、啓発活動にも力を入れています」

一阪神間の中高生が当たり前のようにファミリアのデニムバッグを持っていて驚きました。

「50年以上前、ピアノの楽譜を入れるカバンとして商品化されたもので、フェルトのアップリケ刺繍が施されたデザインが特徴です。親子の会話のはずむようなデザインを心がけており、特に阪神間の女子中高生に代々使っていただいています」

一どのような社風ですか。

「風通しが非常に良い会社です。代表の岡崎から一年目の新入社員までが、お互いに意見を出し合い、コミュニケーションが取りやすい雰囲気です。役職や年齢関係なく、『子どもの可能性をクリエイト』できることであれば、常に全員が様々なことにチャレンジできる文化があります。オフィスの壁もなく、社長も含めみなお互いに『さん』付けで呼び合っています」

一どのような社員を求めていますか。

「創造性、好奇心、そして共感力を持った方に仲間になってほしいですね。約30年後に創業100周年を迎えます。『世界でもっとも愛されるベビー・子ども関連企業になる』というビジョンを一緒にかなえてくださる方を求めています」

(まとめ・山口裕史)

甲南女子大学

三本 優希さん

check 学生がチェック!

「子どもの可能性をクリエイトする」を企業理念に掲げ、「おもしろい人」を採用する会社。

社長と社員の距離が近く、肩書きに縛られない関係を築いているのが魅力的だった。

保育園の運営やサポートクリニックなど、子ども服だけにとどまらない取り組みにも注目したい。

企業データ

■設立(創業)/1950年

■売上高/87億6,100万円(2021年1月期)

■平均年齢/41.0歳

■資本金/6,000万円

■従業員数/526名

ふーどぴくと

(株)フードピクト

神戸市灘区水道筋3-4 ☎ 050-5242-7698



公式サイト

フードピクトは、宗教上の理由やアレルギーなどで食べられない食材がある人たちのために、料理に含まれる食材をひと目で判断できるサインを開発、販売している。

🏆ひょうごクリエイティブビジネスグランプリ2018 兵庫県知事賞

食材表示の国際標準規格を目指す



菊池信孝代表取締役(左)に話を聞く関西大2年の芦田優介さん

一どんな事業をしているのでしょうか。

「外大の学生時代、サウジアラビア人の留学生を日本食店に連れて行った際、イスラム教で禁じられている豚や酒が食材に入っているのではないかと不安になり、結局食べてもらうことができず、とても悔しい思いをしました。世界の3人に1人は、アレルギーかベジタリアンか、宗教上の理由で食べられないものがある。そこで、世界中の人たちが、料理に含まれる食材をひと目で判断できるサイン『フードピクト』があればよいと思い、事業化しました。異なる文化を超えてデザインするところが腕の見せ所です。現在は飲食店など1,600店にフードピクトをライセンス販売しています」

一どのような働き方をしているのですか。

「社員は私だけで、プロジェクトごとにその事業に共感してくださる方や、事業を通じ

てスキルを磨きたい方に参画してもらっています。会社員の方も多く、普段できない仕事ができる喜びを感じてもらっています。メンバー間では、目の前にある課題を解決するより、その課題を生み出している社会のあり方を変えていくという価値観を大切にしています」

一これからの目標は。

「ライセンス先を増やすとともに、いずれはこのフードピクトを世界共通の国際標準規格にできないかと考えています。また、避難所で、避難している人への情報提供とニーズ把握ができる指差しコミュニケーションサインなど、食以外の分野にも事業を広げていきたいらよいですね」

(まとめ・山口裕史)

関西大学

芦田 優介さん

Check 学生が
チェック!

3人に1人がアレルギーや宗教によって「食べられないもの」がある世の中で、誰もが気兼ねなく食卓を囲み交流や対話を楽しめるようにとの思いから生まれたフードピクト。デザインに文化的背景を取り込む工夫など、ピクトグラムのある可能性を感じました。

企業データ

■設立(創業)/2017年

■資本金/400万円

■売上高/1,000万円(2020年12月期)

■従業員数/1名

■平均年齢/35.0歳



1889(明治22)年、開通直後の山陽鉄道(現JR山陽本線)姫路駅構内で弁当の販売を始めた。和風だしに中華麺の「えきそば」も支持される老舗だが、冷凍技術を生かした商品開発やデザイン性の高いパッケージの提案など、新機軸を次々と打ち出す。

冷凍技術で弁当販売好調



竹田典高社長(左)に話を聞く立命館大3年の川村優奈さん(中央)と下山凛さん

—130年を超える歴史があります。

「幼い頃から線路に足を向けて寝るなど言われたぐらい、国鉄・JRとは関わりの深い会社です。駅弁を作る事業者だけに許された『駅弁マーク』はブランドです」

「創業者は料理屋でした。姫路に鉄道が開通し、それまで主流だったおにぎりに代わり、経木(きょうぎ)という薄い木の板でできた折り箱入りの弁当を売りました。日本初の内駅弁です」

—現在も新しいことにチャレンジしていますか。

「弁当の折り箱を作る部門を別会社化したショーワパッケージは、木と紙を組み合わせたデザイン性の高い容器が注目されています。

地球に優しい素材で、洋菓子などとも相性が良いですね。これまでは注文を待っていましたが、自社で企画し、ショールームも作っていきたいです」

—コロナ禍の影響は。

「店舗販売や仕出しは落ち込みましたが、冷凍技術を生かして電子商取引(ＥＣ)に注力しています。冷凍の弁当を昨年末に発売し、好調です。添加物が少なく、作りたてに近い状態で召し上がってもらえるのが利点。冷凍、加熱してもよりおいしくなるよう工夫を続け、駅などで無人販売の可能性も探ります」

—求める人材は。

「若手にもどんどん仕事を任せます。既存の事業もＥＣなどの新規事業も、前向きに取り組める人と仕事をしたいですね」

(まとめ・高見雄樹)

立命館大学

川村 優奈さん

check 学生がチェック!

「おいしさと安心のパートナー」という経営理念を、食材選びへのこだわりを通して具現化している会社だと感じた。その強みを活かして常に新商品開発や新規イベント開催にチャレンジしており、今後の活動に注目したい。

企業データ

■設立(創業)/1944年
(創業1888年)

■資本金/6,700万円

■売上高/23億1,600万円(2020年8月期)

■従業員数/380名

■平均年齢/47.0歳

あこうかせい

赤穂化成(株)

赤穂市坂越329番地 ☎0791-48-1111



公式サイト

赤穂化成は、江戸時代から続く製塩技術を継承し、総合ミネラルメーカーとして食塩から健康食品、食品添加物、医薬品原料、工業用原料に至るまで多様な商品を生産している。

👑令和元年度 ひょうごオンリーワン企業

総合ミネラルメーカーとして発展



2021年度の入社式

江戸時代より塩田による日本の塩づくりを先導してきた赤穂地域。1971年には塩田による製塩は廃止されましたが、赤穂東浜塩田の流れをくむ赤穂化成は、自然塩運動に応える形で「赤穂の天塩(あましお)」を商品化。以降、高知県室戸沖で採取した「海洋深層水」

が、血液サラサラ飲料として注目され、大ヒット。その後もおいしく塩分補給できる「熱中対策水」など社会に役立つ商品を開発してきました。

また、ミネラルの技術を生かした医薬品原料のほか、食品添加物や特殊黒色顔料、豆腐の凝固剤等をラインアップ。「様々な分野の

商品があるため、不況に強いというのが特長。思わぬ所で自分たちの商品が使われていたり、お客様に“ありがとう”という言葉をかけていただけたりと、社会に役立っている実感がやりがいにつながります。」と専務取締役の池上幸志さん。

チャレンジでき、風通しの良い社風

熱中対策水や特殊黒色顔料をはじめ同社のヒット商品の多くは社員からの発案で生まれたもの。誰もがアイデアを出し、それを尊重する風土が社内に根付き、希望者は誰でも参加できる英語研修が週2回行われるなど、挑戦を促す場も用意されています。

新入社員歓迎ボウリング大会や秋のスポーツ大会、10年ごとの節目に行われる海外旅行などの行事も多く、風通しの良い社風が築かれています。池上さんは「先入観にとらわ

れない発想で新しいことにチャレンジしてほしい」と呼び掛けています。



汗に近い成分を補給できる熱中対策水

企業データ

■設立(創業)/1971年
■資本金/3,000万円

■売上高/100億円以上(2021年3月期)
AKOグループ連結
■従業員数/201名

■平均年齢/43.0歳



淡路麺業は、2007年以降、それまでのうどん製造から生パスタ製造へと業態を切り替えた。全国3000軒の飲食店に生パスタを販売し、家庭用市場にも切り込もうとしている。

👑成長期待企業
👑兵庫県立地支援企業

五つ星ホテルや有名レストランでも使用される生パスタ



定番商品から季節限定商品など40種類以上の生パスタを製造

うどん専門メーカーとして100年近く歴史を刻んできた同社が、うどん事業の厳しい先行きを見越し、生パスタ事業に大きくかじを切ったのは2007年のこと。うどんに代わる事業を模索する中でたどりついたのが生パスタでした。「うどんやそば、ラーメンは生麺

が主流なのになぜパスタは乾麺が主流なのか？という疑問を抱き100年以上の麺づくりのノウハウを活かせば本当においしい生パスタを提供できるのではと考えた」と5代目社長の出雲文人さんは振り返ります。

試作を500回以上繰り返して完成した生パスタは、小麦本来の風味が豊かでしっかりとしたコシと弾力が特徴。

また、生パスタを販売するだけでなくラボと呼ばれる社内のキッチンスタジオで調理講習会を実施したりそれぞれの生パスタに合ったレシピを提供したりと繁盛サポートも充実しています。そうした取り組みが評価され今や販売先は全国に3,000軒にのぼり、大手ファミリーレストランや星付きホテルなどでも使用されています。

生パスタをご家庭でも手軽に美味しく

近年はプロ向けの生パスタにとどまらず、ご家庭でも調理しやすい一般消費者向けのパスタやソースなどの開発にも注力しています。「日本のパスタ市場はまだ未成熟なので生パスタの可能性はこれから」と出雲さん。「淡路島から日本のパスタ文化に革命を起こす」と意気込んでいます。



レストランだけでなく
ご家庭でもおいしい生パスタを

企業データ

■設立(創業)/1968年
(創業1909年)
■資本金/1,500万円

■売上高/6億8,000万円(2021年3月期)
■従業員数/68名

■平均年齢/37.8歳

おーくらゆそうき

オークラ輸送機(株)

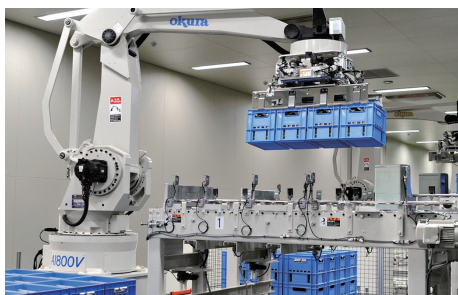
加古川市野口町古大内900 ☎079-426-1181



公式サイト

ネット通販で今日注文した品物がその日には届く。
こうした迅速で正確なものの流れを支えているのが
物流倉庫や製品工場で使われるコンベヤや仕分け装
置などオークラ輸送機の製品群だ。

迅速で正確なモノの流れを支える



乳業メーカーで活躍するオークラのロボット

1955年に日本初の量産型コンベヤを開発したのを皮切りに、パレット（荷物を載せる

台）へ荷物を積む装置、行き先別に荷物を仕分ける装置などを業界に先駆けて開発し、工場や倉庫内の荷役作業の自動化に貢献してきました。工場や倉庫には、こうしたさまざまな物流専用機械が組み合わされて荷物を迅速かつ正確に出し入れしています。「長年の蓄積を生かし、ユーザーの目的に合わせて最適な物流システムを提案できるエンジニアリング力が最大の強み」。同社の機器、システムは大手通販会社、食品メーカーなどで採用されており、私たちの生活を見えないところで支えています。

風通しの良い風土を大切に

2021年4月に新しい本社ビルが完成しました。オフィスフロアはゆったりと席が配置され、部署間の仕切りがないオープンなつくりになっています。集中・対話・リラックスなど働き方に応じたスペースが社員同士の良好なコミュニケーションを促しています。同時に服装も自由化し、社内には明るい雰囲気漂っています。「こうした風通しの良い風土によりお互いが当たり前のように声かけをすることでケガや事故のない現場、そして柔軟で新たなアイデアを創出する風土の醸成につながっている」。創業100周年を目前にさらに進化を遂げようとしています。



曲線で流れを表現したデザインの本社ビル

企業データ

■設立（創業）／創業1927年
■資本金／13億3,056万円

■売上高／350億7,600万円（2021年3月期）
■従業員数／601名

■平均年齢／42.3歳



ドライフラワー、プリザーブドフラワーを総合的に扱うメーカーとしては世界ナンバーワンの大地農園。花や緑をきれいなまま長持ちさせる技術でさらなる飛躍を目指している。

🏆令和2年度 ひょうごオンリーワン企業
🏆平成27年度 兵庫県環境にやさしい事業者賞

花を加工しあらゆる場に生かす



お客様に感動を与えるプリザーブドフラワー

乾燥させて水分を抜き自然な風合いに加工するドライフラワー、本物の植物の水分を特殊な液体と置き換えることで見映え、質感を

保ちながら長持ちできるよう加工されたプリザーブドフラワー。大地農園はこのどちらにおいても高い技術を持ち、かつ多くの花の種類を扱うという両面において世界に類を見ないメーカーです。

バラ、アジサイ、カスミソウなどの花は世界の栽培適地から仕入れ、丹波市の工場で加工した後、国内外に出荷されていきます。現在、新たに注力しているのがオフィスやホテルの壁面を飾るプリザーブドフラワー。「植物は人に安らぎをもたらす。その効果を実感してもらえるよう植物の持つ香りも含めて伝えていきたい」と社長の大地但氏は話します。

欧米に拠点、海外展開さらに

植物は生き物。かつ多くの作業は人間の手に頼るところが多い。「それだけに働く社員がいかに気持ちよく、やる気を持って働けるかが大事」と、多様な働き方を促す制度を設ける一方、人との関係性、問題解決能力、技術の3要素で目標を設けたうえで一人ひとりの社員を評価し、給与にも反映するようにしています。

折からのコロナ禍でSNSを活用した発信を強化したところ、国内外からの反響が増えていること。近くアメリカ、ヨーロッパそれぞれに物流拠点を整備し、世界展開をさら

に強化していこうとしています。



全社風景

企業データ

■設立(創業)/1981年
(創業1955年)
■資本金/5,000万円

■売上高/27億8,472万円(2021年5月期)
■従業員数/180名

■平均年齢/45.0歳

おーりす

オーリス(株)

丹波篠山市西岡屋681-1 ☎079-552-7772



公式サイト

クローゼットや手洗い・洗面カウンターをはじめとする住宅設備メーカー。2020年以降を「オーリス3.0」のステージと位置づけ、人に投資をしながら新たな事業機会を開拓していこうとしている。

🏆平成28年度 兵庫県環境にやさしい事業者賞

「人の幸せ」をテーマに提案



ce-fitショールーム

開閉時の指詰めを防止する折れ戸、簡単に部屋の模様替えができる可動間仕切り収納など多くの独自製品を開発してきました。大手ハ

ウスメーカー向けOEM（他社ブランド製品の製造）が主力事業ですが「厳しい要求に応える技術、設備を持ちながら、こちらからも提案することで、大手得意先様との関係を築いてきた」と社長の彦坂充宏氏。テーマは「人の幸せ」。例えば、家事動線を考え洗面脱衣室に収納場所を設けることで無駄な時間（歩数）を減らすことができる新たな暮らし方の提案も行っています。

環境への取り組みにも熱心で、他社では使った後に残った端材を再利用するところ、そもそも端材を出さないよう材料の使い方を設計するところから取り組むなど徹底した思考は他社の追隨を許しません。

一人ひとりの社員の成長を応援

20代半ばで課長に、30代で執行役員に昇進する社員も多く、若い時から責任と仕事が任されることも同社の特長です。コロナ禍を受け、デジタルツールを活用した社内コミュニケーションを導入し若手社員の意見を反映させやすい仕組みもつくっています。

2020年には人、組織に重点的に投資し、新規事業の育成に注力していくことを宣言。「働き始めてからもっと学生時代に勉強しておけばと思うものですが、当社は資格取得や勉強したいことがあれば応援もする。会社に

入ってからの方がより勉強したい方向性が見え、追求できる。どんどんと成長してほしい」と話しています。



生産設備

企業データ

■設立（創業）／1990年
（創業1946年）
■資本金／8,000万円

■売上高／35億7,639万円（2020年3月期）
■従業員数／156名

■平均年齢／42.0歳



強大な電気エネルギーを放つ雷から電力インフラを守る避雷器を製造・販売する雷対策の専門メーカー。時代の変化をにらみながら、ニーズに沿った製品の開発も見据えている。

🏆平成28年度 ひょうごオンラインワン企業

雷から社会を守る専門メーカー



雷テクノロジーセンター外観

雷の発生数は気候変動に伴って年々増加傾向にあります。落雷後、雷の異常な電気は電源線や通信線などを伝わり、建物内にある電

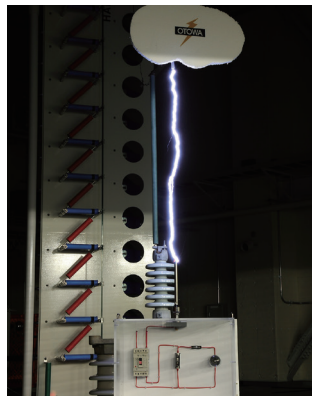
子機器類に影響を及ぼし、設備や装置などに誤作動や異常をきたす原因となります。同社はこうした雷から社会を守るための避雷器のメーカーとして国内トップクラスのシェアを誇ります。

「以前は主にインフラ設備向けが主なお客様でしたが、近年ではさまざまな設備が電子化され、雷によるリスクが大きい工場やデータセンターなど、産業民生分野でのニーズが大きくなってきている。電子化された設備では落雷リスクが増大しているとも言えます」と吉田厚常務。アフリカやアジアをはじめ海外市場も積極的に開拓し始めています。

若い力に委ねブランド力を向上

同社では近年、若い社員の活躍も目立っています。「経営層から若い社員まで皆が気さくで、風通しの良い会社です」。会社のホームページやツイッター、フェイスブックを活用した会社の情報発信についても若い社員を主体としたプロジェクトチームに委ね、「自由な発想で雷の専門メーカーである当社のブランド力の向上に貢献してくれています」と話します。「IoT化、リモートワークの増大などコロナ禍に伴い変化が進む中で社会を雷からどう守れるか柔軟に提案していかなければなりません。これからも若い人たちの発想を

楽しみにしています」と期待を込めて語ります。



高電圧試験設備の放電実験の様子

企業データ

■設立(創業)/1946年
■資本金/8,190万円

■売上高/116億1,600万円(2021年3月期)
[グループ連結]
■従業員数/271名

■平均年齢/45.0歳

かわにしこうくうきこうぎょう

川西航空機器工業(株)

川西市下加茂2丁目1番6号 ☎072-759-4145



公式サイト

航空機向け部品を製造して50年を超える。主体の防衛省向けに加え、近年は民間航空機向けを強化。広がる事業機会をとらえるべくチャレンジできる風土を育てようとしている。

安全を徹底し、航空・宇宙市場で信頼を築く



大企業に負けないスペックと企業風土で、地域の子どもの憧れとなれる企業をめざしています

航空機の製造に欠かせない、ねじを締め付けるためのワッシャー、部品同士のすき間を埋めるためのシム、配管を固定するためのク

ランプなど航空機に使われる規格品を五千種類ほど製造しています。

これらの部品は国内の機体メーカー、エンジンメーカー全てで採用されており、最終的に自衛隊や航空機メーカーの飛行機、船に使われています。

長年の実績で築き上げた信頼を強みに、国際宇宙ステーション日本実験研究棟「きぼう」の空調機材なども手がけてきました。最大の強みは、材料選定から製造、表面処理、非破壊検査、組立、品質保証までをすべて一貫して担っていること。「すべての工程において絶対安全の意識を徹底させています」と小寺久志社長。

ビジネスチャンス見据えチャレンジする風土醸成

近年特に力を入れて取り組んできたのが民間航空機分野です。COVID19の影響もあり、民間航空機分野の足元は厳しい状況にありますが、今後、成長が期待される分野です。「これまでの信頼の上に挑戦する風土を醸成させていきたい」との思いから、人材教育をシステム化するとともに、製造、技術、営業、品質保証など多様な部門をローテーションさせることで幅広い視野を身に付けてもらおうと考えています。「部品にとどまらず、いずれはシステムの装備品も任されるようチャレン

ジしていきたい」と先に広がるビジネスチャンスを見据えています。



航空機の品質を確保するため、日々綿密な検査をしています

企業データ

■設立(創業)/1967年
(創業1950年)
■資本金/6,000万円

■売上高/9億3,511万円(2021年5月期)
■従業員数/98名

■平均年齢/40.5歳



建設現場で使われる安全帯（命綱）や工具袋などを製造する基陽。入社3～5年目の若手社員が主体になってそれぞれの得意分野を寄せ合いながら新製品の開発に取り組んでいる。

- 🏆平成25年度 ひょうごNo.1ものづくり大賞 製品・部材部門賞
- 🏆成長期待企業
- 🏆平成27年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
- 🏆平成29年度 ひょうご女性の活躍企業表彰

入社3～5年目で商品開発



それぞれの得意分野を生かして新製品の開発に取り組む
安藤風子さん(左)と久米梨佳子さん

「職人の声に徹底的に寄り添う」ことを道具作りのモットーにしている同社。現場からの要望や不満に応えながら、安全帯や工具袋などを次々に送り出しています。大学で工業デザインを学んでいた安藤風子さんは「デザインで社会の課題を解決したい」と入社。2019年末に社長から、新商品開発をミッションとするデザイン部の主任をまかされました。現在、入社5年目の安藤さんが、入社4年目、3年目の女性社員を束ね、3人で新しい価値を提供できる安全帯の開発に取り組んでいます。現場の職人を訪ねて声を拾い、既存の商品を1日身に付けるなどして、商品開発のヒントを得ています。

それぞれの得意分野を生かす

安藤さんが大切にしているのは「それぞれの得意分野を生かすこと」と「自由に意見が出せる雰囲気をつくること」。メンバーの1人、入社3年目の久米梨佳さんは「自分が建築現場で働きたい」というほどの強い思い入れを持っており、自身が身に付けたいと思えるアイデアを活発に出しています。「何を言っても否定せず、受け入れてくれるのがうれしい」と久米さん。商品開発は大詰めの段階まで来ており「早く現場の人に使ってもらい、すごい製品を開発したねと喜ぶ姿をみ

たい」と久米さんは今から製品が出来上がるのを楽しみにしています。



落下事故から命を守る安全帯
(墜落制止用器具)

企業データ

■設立(創業)/1978年
■資本金/1,000万円

■売上高/14億円(2020年5月期)
■従業員数/39名

■平均年齢/40.5歳

きょくとうさんき

極東産機(株)

たつの市龍野町日飼190 ☎0791-62-1771



公式サイト

コンピュータ式畳製造システムや自動壁紙糊付機で培った技術を生かし、各種自動化・省力化機器へと事業を展開。近年ではリチウムイオン電池製造工程の一部の生産設備も受注・開発するなどユーザーニーズをくみ取り、オリジナル製品を創出し続けている。

🏆令和元年度 ひょうごオンリーワン企業
🏆令和2年度 ひょうごNo.1ものづくり大賞 製品・部材部門賞

特許出願数は700超



令和4年4月完成予定 神岡工場

1948年に畳製造機器メーカーとして創業。現在は畳事業のほか、全国シェア9割以上を占める自動壁紙糊付機を柱とするインテリア

事業、特殊機能畳商品などのコンシューマ事業、大手牛丼チェーンでも採用されている味噌汁ディスペンサーなどの食品機器事業、リチウムイオン電池製造工程の一部の生産設備などの産業機器事業まで幅広く展開しています。「常にユーザーのニーズに合わせ製品開発を続けてきた」と取締役総合企画室長の頃安憲司氏。700を超える特許出願数（2021年6月末時点）がそれを物語っています。

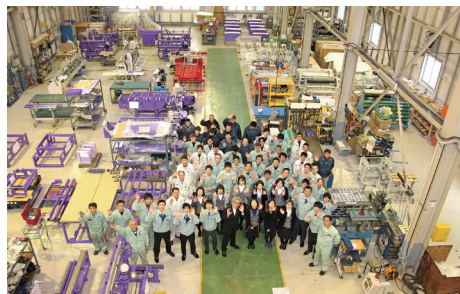
2018年9月には東証JASDAQスタンダード市場に上場。上場で得た資金の一部は神岡工場の製造能力増強、生産効率化に投資し、22年末には拡張工事が完成する予定です。

自分で考える習慣を徹底

入社5年目の田中彩加さんは採用業務などのほか月刊社内報の編集を担当しています。「入社時から、自分だったらどうするかを考えるように上司から教わってきた」と言います。社内報では自ら提案して若手社員をインタビューするコーナーも設けており「やりがいを感じる」と話します。

自ら考える習慣は新事業開発にも生かされています。各部門の社員によって結成されたプロジェクトチームから生まれたアイデアが21年4月に事業化されました。葬祭用特殊畳を製造している縁から遠隔で葬儀に参列で

き、花やメッセージも贈れるオンライン葬儀システムで、ものづくり以外のサービス業にも新たな一歩を踏み出したところです。



読売テレビBEAT～時代の鼓動～ 撮影の一場面

企業データ

■設立（創業）／1948年
■資本金／6億3,111万円

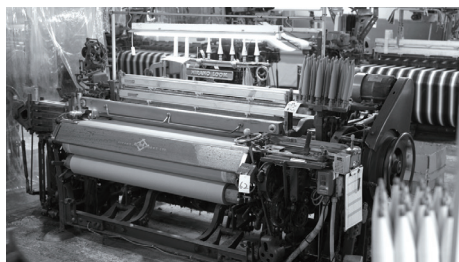
■売上高／80億636万円（2020年9月期）
■従業員数／294名

■平均年齢／42.7歳



桑村繊維は、北播磨地域に集積する播州織業界の中で早くからオリジナルの織物を企画提案しており、近年は国内だけでなく海外市場の開拓にも注力している。

各部門で企画し、独自商品を提案



当社工場部ジャートル織機

江戸時代から当地に根付く播州織の特徴は、糸を織り上げる前に染める先染めの製法によって織物が作られることで、織物に豊か

な色合いと風合いを与え、色落ちしにくいなどの利点を持っています。その播州織のリーディングカンパニーとして業界を牽引し続けているのが桑村繊維です。

同社の事業部門は素材や顧客ごとに10に分かれ、各部門に企画担当者、デザイナーを配置し、レディースやメンズのファッション衣料向けを主体に独自に開発した生地を顧客に提案しています。「入社3年目ほどで企画やデザインを任せており、各部門で競い合いながら開発できる環境がやりがいにつながっているようです」と総務部長の飛田幸伯さん。

女性活躍の場、さらに

国内の消費が頭打ちになっていることから近年注力しているのが輸出です。ニューヨーク、パリ、上海などの展示会に積極的に出展を続けており、「メイドインジャパンに対する品質への評価が高い」ことから現在は売り上げに占める輸出比率は15%にまで高まっています。

最近では各部門でInstagramを活用した商品の情報発信も始めており、新たな顧客開拓にもつながっているとのこと。「もっと女性社員に営業にも出てもらい生の声を商品開発に生かしてもらうなど、女性活躍の場も広げていきたい」と話し、時代に合わせた方

法で活路を開こうとしています。



当社東京営業所ショールームの展示会風景

企業データ

■設立(創業)/1950年

(創業1928年)

■資本金/2億1,000万円

■売上高/60億6,500万円(2020年9月期)

■従業員数/120名

■平均年齢/42.0歳

さわだせいみつ

サワダ精密(株)



公式サイト

姫路市広畑区吾妻町1丁目39番地 ☎079-239-2225

サワダ精密では会社を仕事だけでなく人間的な成長の場と位置づけ、若いうちからさまざまな活動への参画を促し、自ら考え、決断する機会を通じて人間力の養成を図っています。

🏆成長期待企業

🏆令和2年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰

当たり前のことを当たり前に行う



人財育成にとても力をいれています。
仕事も遊びも全力で！それがサワダ精密です。

姫路市内に展開する5つの工場に計70台迄

一人の人間として成長する場に

新入社員の採用内定を決めた後に澤田社長がまず行うのが、内定社員宅の家庭を訪問し、採用を決めた理由や会社の考え方を親に伝えること。「結婚を申し込むような気持ちで身が引き締まる瞬間」と言います。同社では、5つの委員会活動のリーダーや社員旅行の企画などを若い社員に委ねることで「自ら考え、決めたことで小さい成功体験を重ね、それを仕事にも広げてもらえたら」と狙いを説明します。「社員として、そして一人の人間として会社が成長を促す場になれば」と思いを語る澤田社長。そうした取り組みが取引先

の工作機械を保有し、クルマのモーターを製造する設備の部品や発電所のタービンの部品など製造しています。「設計から施工、組み立てまで一貫して手掛けられるところがよそにはない強み」と澤田洋明社長。一方で「ものづくりの技術は機械に頼る部分が大きいため差別化を図るのは難しい。サワダ精密と仕事をしたいと思ってもらえるものがない」との思いから力を入れるのが人間力の養成です。社員全員のバッジには「出したら片づける」「感謝の気持ちを伝える」など社員一人ひとりが選んだ標語を掲げ「当たり前のことを当たり前に行うこと」を徹底しています。

からの信頼にもつながり事業の成長にもつながっています。



ただの“仕事”というくくりでは終わらせません！自分らしくいきいきと楽しく働ける場所

企業データ

■設立(創業)/1988年

■資本金/4,250万円

■売上高/12億1,891万円(2020年10月期)

■従業員数/83名

■平均年齢/35.1歳

すいこー

スイコー(株)

尼崎市西向島86番地 ☎06-6412-5855



公式サイト

スイコーは、1966年にオランダから回転成形による樹脂成形法を国内に初めて導入した。以来、幅広い産業向けの大型容器から遊具まで多彩なポリエチレン製品を製造している。

👑令和元年度 ひょうごオンリーワン企業
👑成長期待企業

回転成形品の社会との関わり



スイコー株式会社 本社

回転成形法は、粉末樹脂を金型に投入、それを回転させながら、加熱・冷却する手法で

す。金型の製造コストが抑えられるため一品様のオーダーに応えやすく、また継ぎ目なく一体的に成形品を作ることができます。それらの製品は、耐久性が高く、耐薬品性に優れています。

そのメリットを生かして、さまざまなポリエチレン用品を生産しています。最大の大きさでは、高さ7メートル、容量5万リットルを誇る大型容器を供給し、薬品貯槽や排水処理するためのタンクなどとして活用されています。また、災害発生時には生活水の運搬・貯水用として被災地で活用されている容器、さらには寸断された道路への道路防護柵も供給しています。

風通しの良い社風で“脱容器”も積極化

近年は容器だけに頼らず、幅広い用途向けに製品を開発しています。その一つが遊具。鉄製と比べて熱を持ちにくく、カラフルな色彩やデザイン性に優れるメリットを生かし生産量を増やしています。今後は、静電気が発生しにくい素材や透明なポリカーボネートなどの新たな素材も活用し提案の幅を広げていこうとしています。

上司との年4回の面談機会を作るなど風通しの良い社風が特長の同社。2020年11月に社長に就任した横山俊介さんは「会社を第二

の家族のように思ってもらいたい。子育てや介護など家庭のことも相談しやすい会社にしていきたい」と話します。創業59年を迎えた今、「100年企業に向けてより強靱(きょうじん)でしなやかな会社にしていきたい」と意気込んでいます。



子供たちの未来を育む遊具

企業データ

■設立(創業)/1963年
■資本金/4,800万円

■売上高/41億円(2021年8月期)
■従業員数/140名

■平均年齢/41.5歳

せいわこうぎょうしょ

(株)精和工業所

伊丹市北本町3丁目105番地 ☎072-782-0281



公式サイト

温水タンクやリチウムイオン電池ケースなどステンレス素材の溶接技術で強みを持つ精和工業所。働く人、地域の人が誇れる企業を目指して、自社商品の開発にも力を注いでいる。

薄いステンレスの溶接技術に強み

ステンレスの溶接風景

厚さ1mm以下の薄いステンレスをつなぎ合わせる溶接加工技術を得意とし、給湯器の温

水タンクやコンビニエンスストアのコーヒーマシン向け熱湯タンク、リチウムイオン電池ケースなどを製造しています。できあがった製品は温度、圧力、水質やその変化に耐えられる性能や精度が求められるため、溶接時の電流量、酸素遮断、専用器具開発など、ノウハウを組み合わせながら最適な条件で加工を行っています。

顧客からの厳しい要求に応えるべく独自の検定試験による資格制度を設けているのも特長の一つ。製造現場で働く女性パート従業員が溶接加工に興味を持って資格取得に挑み、正社員に登用された事例もあるそうです。

消毒液ディスペンサーなど自社製品も強化

「地域の人に誇りに思ってもらえる会社になることが目標」と話す原克彦社長。そこで現在力を入れているのが自社ブランド商品の開発です。すでに地域の酒造会社の要望に合わせて開発したホットビールサーバーを商品化。コロナ禍に合わせて2020年に商品化した、消毒液ディスペンサーは、来客の多い施設でも円滑に対応できるよう大容量で瞬時に噴射できる構造とし、地元の伊丹市などへ寄贈。現在、多くの病院や大学などで採用が進んでいます。「ここで働いていてよかったと思える会社を目指し、社員が一体感を持って

働ける風土をつくって
いきたい」と話して
います。



自社商品
大容量消毒液ディスペンサー

企業データ

■設立（創業）／1962年
■資本金／2,400万円

■売上高／38億円（2020年9月期）
■従業員数／234名

■平均年齢／43.0歳



高丸工業は、ものづくりの現場の作業に合わせ産業用ロボットを組み上げるロボットシステムインテグレーターとして、労働力不足や後継者不足に悩む中小企業へのロボット導入を後押ししている。

- 🏆 平成25年度 ひょうごNo.1ものづくり大賞 選考委員会特別賞
- 🏆 ひょうごクリエイティブビジネスグランプリ2012 兵庫県知事賞
- 🏆 成長期待企業
- 🏆 兵庫県立地支援企業

中小企業のロボット導入を支援



広い工場には国内主要7メーカーの産業用ロボットを常設

産業用ロボットとは、人間でいう肩から手首までの動きを自動化したアームロボットを指します。ロボットシステムインテグ

ターは、現場で求められる作業に合わせアームロボットの手に当たる部品やその動きを制御するプログラムを開発し、最終製品に仕上げる役割を果たします。社長の高丸正さんはこれを「ロボットに命を吹き込む仕事」と言います。

同社はロボットシステムインテグレーターとして40年以上の歴史を誇り、開発だけでなく導入前テスト、コンサルティングまでを担うことでロボット導入を支援しています。「労働力不足や技能承継、少量多品種生産など中小企業ならではのニーズも踏まえサポートできることが強み」と高丸さんは言います。

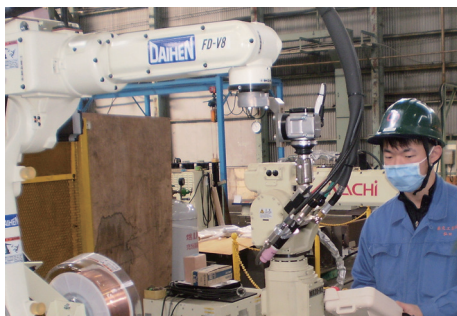
高校生向けの見学会も開催

それぞれの中小企業で産業用ロボットを扱うには労働安全衛生規則に基づく資格が必要で、同社ではその資格取得ができる特別教育講習の場も設けています。昨年は約1,100人の受講者を受け入れました。

また、これからのものづくりを担う若い人材にロボットへの興味を持ってもらおうと、同社では高校生向けのロボットセミナーや見学会を行っています。「パソコンやスマホの扱いに慣れた高校生は理解も早く、現場を見てかっこいいと言ってくれます」。

こうした中小企業のロボット導入の取組

みは「日本を世界一のものづくり大国に」という思いに支えられています。



ロボットティーチング作業の様子

企業データ

■設立(創業)/1967年
■資本金/8,500万円

■売上高/9億656万円(2020年8月期)
■従業員数/26名

■平均年齢/40.4歳

なかたこうげい

中田工芸(株)

豊岡市日高町江原92 ☎0796-42-1131



公式サイト

高級ハンガーの代名詞としてギフト市場を強化している「NAKATA HANGER」。また、中田修平社長自身、育児休業を取得するなど働きやすい環境づくりも大切にしている。

🏆ひょうごクリエイティブビジネスグランプリ2019 兵庫県知事賞
🏆成長期待企業

ストーリーを大切にギフト市場狙う



ハンガーの可能性を追求し、その魅力を全国・海外に届けています

ハンガーづくりの工程は、ブナなどの木をカットするところから、複数の番手のサンドペーパーで磨き、塗装に至るまでの大半を手作業に頼っています。

戦後間もない1946年に木製ハンガー

メーカーとして創業して以来、アパレルや百貨店などBtoB向けで成長してきましたが、2007年に東京・青山にショールーム「NAKATA HANGER」を開設して以来、こだわりのハンガーをBtoC向けにも発信しています。「いいものを造れば売れるというわけではない」と社長の中田修平氏。ギフト用でかつ「ストーリーが語れること」を主眼に置き、市場をつくってきました。その一つが「ブライダル」の引き出物向けで「福を掛ける」のコピーが評判を呼んでいます。もう一つが「人生とともに歩むハンガー」として「卒業記念」向けで売り上げを伸ばしています。

社長自ら育児休業を取得し、働きやすさ追求

海外市場の開拓にも挑んでいます。3年前、香港のテラーで行った展示即売が好評で、現在はシンガポールやアメリカなどのほか、テラーの本場イギリスの市場開拓も進めているところ です。

日本らしい丁寧なもののづくりで世界に挑む姿勢にひかれ志望する学生も増えているとのこと。

そこで長く働いてもらえるよう、19年7月には中田社長自身、第2子の誕生を機に1カ月の育児休業を取得しました。「僕のあとに

男性社員の育休取得者が続いてくれれば」と考えています。



年齢や性別に関係なくチャンスがあり、皆が協力し合う社風です

企業データ

■設立(創業)/1946年
■資本金/3,000万円

■売上高/6億8,500万円(2021年4月期)
■従業員数/64名

■平均年齢/40.0歳



開湯1300年を誇る城崎温泉で純日本旅館の西村屋本館と西村屋ホテル招月庭を運営する西村屋。「地域と旅館は一蓮托生^{いちれんたくせい}」という思いのもと観光で地域を盛り上げようとしている。

成長産業の一翼として地域に貢献する



歴史と風格を感じさせる西村屋本館の玄関

まち全体が一つの旅館としておもてなしするという共存共栄の精神が浸透している城崎

温泉にあって160年旅館・ホテル業を営んできました。城崎温泉を擁する豊岡市も人口減少が大きな課題となっている中、「日本における数少ない成長産業の一つである観光産業の一翼として、地域の人口減少の歯止めにも貢献できれば」と西村総一郎社長は語ります。2011年の社長就任以来、力を注いできたのが訪日外国人旅行客の獲得。パりに情報発信拠点を設立したほか、海外で開かれる旅行博にも積極的に参加しています。また、インバウンドに対する

おもてなしを強化すべく、阪神間にも積極的に足を運んで採用に力を入れてきました。

地元に定着してもらうための投資を欠かさず

同社のサービスの特長の一つが客室で食事をしてもらう「お部屋食」。手間をかけたサービスを維持していくため、ITを活用しそれぞれの社員の休みの希望と宿泊者の予約情報とを照らし合わせて自動的にシフトを作成するシステムを導入し、働きやすい環境を整えています。また、独身寮のほか、結婚後も働けるよう家族用社宅の整備にも力を入れています。「私が引き継いだときよりもいい状態で会社も地域も次世代に渡したい。それが私の

使命だと思っています」。7代目当主として、城崎温泉の持つDNAを受け継ぎながらさらなる発展を期しています。



温泉街風景

企業データ

■設立(創業)/1951年
■資本金/2,000万円

■売上高/27億1,000万円(2021年8月期)
■従業員数/307名

■平均年齢/35.8歳

のーりつ

(株)ノーリツ

神戸市中央区江戸町93番 ☎078-391-3361



公式サイト

「新しい幸せを、わかつこと。」をビジョンに掲げ、給湯器のリーディングメーカーとして日本のお風呂文化を支えてきたノーリツには「人を大事にする文化」が根付いています。

 くるみん認定企業

常に新製品を他社に先駆けて開発



明石本社工場敷地内には工場だけでなく開発の施設もあります

ガス・石油給湯機器とガスコンロの製造を主力事業として展開し、日常生活に欠かせないお風呂と厨房を縁の下で支えるノーリツ。

失敗をしても、挑戦をたたえる

同社を支えるのが「たとえ失敗をしたとしても次どうするかを大事にする社風」と人事企画グループの藤田純子さんは言います。リーダー職を目指す若手社員向けには広い視野を養うため社外人材と交わる研修等の学習機会を設けています。「長く、安心して働き続けられるように」とテレワークの推進やコアタイムのないフレックスタイム制の導入、明石本社工場における社内保育園整備、健康経営の推進など「人を大事にする文化」も根付く同社。「常識にとらわれず未来を切り開

お湯張り完了時に流れるメロディーと「お風呂が沸きました」のなじみの音声にピンとくればそれは「ノーリツ製」です。

創業来常に利便性、安全性、省エネを追求した商品を先駆けて開発し、「新製品のノーリツ」として高い評価を得ており、近年も浴室事故を防ぐ「見まもり機能」、衛生意識の高まりから「UV除菌機能搭載」の給湯器などが加わっています。国内向けには環境問題の観点から低炭素・脱炭素社会に向けた商品開発に注力し、海外向けについてはすでに展開している中国、米国、豪州に加え成長市場である東南アジア向けを強化しつつあります。

くことのできる人を」と藤田さんは求める人物像を語っています。



給湯器の生産ライン

企業データ

■設立（創業）／1951年

■資本金／201億6,700万円

■売上高／1,838億5,900万円（2020年12月期）

■従業員数／2,225名

■平均年齢／42.7歳



2019年でん粉ひと筋、創業100年を迎えた。「従業員は家族」「何事も果敢にチャレンジ」のびのびした風土のもと、でん粉の可能性を広げ続けている。

でん粉の新たな可能性を引き出す



2021新入社員

「でん粉」や「加工でん粉」は、「もちもち」「サクサク」とした食感や、「つや出し」＝「保性」などの品質向上に欠かせず、パンや即席めん、レトルト食品、お菓子、飲料など多くの食品に含まれています。創業時はでん粉卸としてスタート。洗濯糊など工業用でん粉メーカー

に転じ、高度成長期の頃から食品用でん粉へとシフトしました。現在は天然のでん粉を原料にした食物繊維で、おなかの調子を整えたり食後の血糖値の上昇を穏やかにする難消化性デキストリンが多くの特定保健用食品や機能性表示食品に採用されるなど、健康をキーワードに新たなでん粉利用価値を提案し、売り上げを増やしています。また、15年以上にわたり香川大学と共同で「希少糖」の研究開発を行い、国内外から注目されています。でん粉の価値創出に挑み続ける同社の原動力は「こんなことに挑戦してみたいというテーマがあればそれを否定することなく、尊重してやらせてみる風土」と人事部次長の寺園裕之さんは言います。

「従業員は家族」という言葉が浸透

「従業員は家族」という言葉が浸透しているのも同社ならではの。「働き方改革」という言葉が浸透するずっと前から定時退社が習慣化、有給休暇も当たり前のように取得しているとのこと。社内は野球、フットサルなどのサークルのほか、部署を超えて自主的にゴルフやテニスを楽しむ従業員が多く、そうした交流の中から何でも言いやすい風土が育ち、ひいては挑戦できる土壌が育まれているようです。



100周年記念旅行（2019秋・北海道）

企業データ

■設立（創業）／1919年
■資本金／1億円

■売上高／526億5,600万円（2020年11月期）
■従業員数／480名

■平均年齢／42.0歳

もりた

(株)モリタ

三田市テクノパーク1番地の5 ☎079-568-7800



公式サイト

シェア55%以上を誇る消防車両のトップメーカー。
消火、救助の機能を持つ車両だけでなく消防隊員の
安全管理システムなども加えた総合防災ソリュー
ション企業として進化を続けている。

グループ総力で消防ソリューションを提案



1台ごとに異なる仕様に応じて消防車が生産されている

1907年に創業し、日本で初めてガソリンエンジン付き消防ポンプを開発して以来、消防車のトップメーカーとして日本の消防技術発展に寄与してきました。近年は主力のはしご車に加え、ブームを使った消防車もラインアップ。また、水に消火薬剤を加え発泡させることで少量の水で高い消火性能を発揮する消防ポンプ車や、空気中の窒素濃度を上げることで、一切水を使用せずに消火する消防車なども開発。IoT を活用した画像情報による消火活動のサポートシステムなどと組み合わせ、グループ全体で消防のソリューションを提案しています。

2年ごとの全員研修で養われる同期の絆

2016年にはダイバーシティ推進室を設置し、新卒採用のうち40%を女性、10%を海外出身者にする目標を掲げ、イノベーションを生み出す基盤づくりを進めています。入社後は全体での研修後、配属先で新入社員1名につき1名メンターが任命されて、新入社員の成長をサポートします。また、入社4年目までの期間は、2年ごとに全員研修を開催し、自身の成長を同期の仲間とともに振り返ります。「各年次のグループ社員全員を集めた研修を頻繁に行っており、同期の絆が強いのが特長」と人財開発課課長の東尾薫さん。一体

感を醸成する人財教育で新商品、新市場開発への挑戦を促しています。



新入社員フォローアップ研修

企業データ

■設立(創業)/1907年
■資本金/10億円

■売上高/非公開
■従業員数/386名

■平均年齢/39.5歳



神戸を代表する観光地、六甲山で数多くの施設を展開する六甲山観光。2021年には2つの大型施設がリニューアルオープンし、六甲山のさらなるにぎわいづくりに向けた仕掛けを積極化している。

日本最大級のアスレチック施設が誕生



六甲山からの眺望

「都心部から近い場所で豊かな自然、さまざまなレジャー、眺望を楽しむことができる稀有な観光地」と六甲山の魅力を語る宮西幸治社長。商業施設「六甲ガーデンテラス」、

冬はスキー、夏は日本最大級のアスレチックが楽しめる「六甲山アスレチックパーク GREENIA」のほか「ROKKO森の音ミュージアム」「六甲高山植物園」「六甲ケーブル」などの運営を行っています。

2021年には「六甲山カンツリーハウス」と「六甲山フィールド・アスレチック」とが一体化し、日本最大級のアスレチック施設「六甲山アスレチックパーク GREENIA」としてオープンし、ROKKO森の音ミュージアムもリニューアルオープンいたしました。「こうした強力なコンテンツに加え、施設を周知するための情報発信に力を入れ、集客につなげていきたい」と力強く語ります。

外部にゆだねず企画、運営まで担う

六甲山の景観を生かした現代アートの展覧会「六甲ミーツ・アート 芸術散歩」は昨年で12回目を迎え、これまで六甲山に足を運ぶことのなかった若い女性などを呼び込んでいます。こうしたイベントやPR についても社員たちで企画、運営を担っている点も同社の特長です。恵まれた環境の中で音楽、植栽、アートなど自分の好きなことに関われることから新卒者の人気も高いとのこと。「六甲山を世界でも知られた観光地にすること」をミッションに「社員自身がワクワクしながら

新しいことに挑戦してほしい」と宮西社長は若い社員の力に期待しています。



六甲ケーブル

企業データ

■設立(創業)/1923年
■資本金/8,097万円

■売上高/14億6,307万円(2020年3月期)
■従業員数/218名

■平均年齢/39.8歳